



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相
場
概
況

30日

日銀が臨時の会合を行うと発表し、朝方は追加金融緩和への期待感から為替相場は全面的に円安が進んだ。ただ、発表された内容が市場の予想とほぼ同等の内容だったことで、失望感から円高が進んだ。海外時間は、NYダウが下落したことで、クロス円は円高の流れが継続した。

31日

アジア株式の下落を受けて、ドル円やクロス円は下値を試す展開となった。海外時間は米ケース・シラー住宅価格指数や米消費者信頼感指数が市場予想を上回ったことでクロス円は下げ止まった。FOMC議事要旨への市場の反応は限定的だった。

1日

アジア時間は豪GDPや中国製造業PMIが強かったことを受けて、豪ドル円を中心にクロス円が上昇。海外時間に入ると、米ADP雇用リポートが弱かったことでリスク回避の円買いが進んだが、米ISM製造業景況指数が強い結果となると、再びクロス円は下値が堅くなった。

2日

米新規失業保険申請件数や米住宅販売保留指数が市場予想より強かったことを受けてドル円・クロス円は下値がしかりした。米指標が強かったことで、NYダウが続伸となったことも、円安を促した。

3日

米雇用統計発表までは様子見ムードが広がった。米雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想よりも強い結果となったことで、円売り・ドル買いが進んだ。ただ、その後発表されたISM非製造業景況指数が弱かったことで、雇用統計前の水準まで押し戻された。

総括

先週のドル円相場は買い先行後、売りに押し戻された。週明け30日朝、「日銀が臨時の金融政策決定会合を開催する」と伝わると、金融緩和への期待感から円売り・ドル買いが強まった。一時85.91円まで上昇した。ただ、「新型オベ」の供給額を現行の20兆円程度から30兆円程度に引き上げるとの日銀の追加緩和策は、市場では「ほぼ予想の範囲内」と受け止められた上、白川日銀総裁の会見では更なる追加緩和を示唆する発言がなかったため一転売りが優位になった。31日の日本株が大幅安となったことがリスク回避目的の円買いを誘ったほか、1日には8月全米ADP雇用リポートが弱い内容だったことを受けた売りも出て一時83.66円まで下落。8月25日に付けた1995年6月以来の高値83.58円にあとわずかに迫った。その後、8月米ISM製造業景況指数が予想外に改善し、米金利が急上昇した影響で円買い圧力が後退し、ドル円は84円台前半まで戻した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
1日	10:30	水	AUD	四半期国内総生産(GDP)	前期比	4-6月期	0.50%	0.70%	0.90%	1.20%
1日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	8月	4.2万人	3.7万人	1.5万人	-1万人
1日	23:00	水	USD	ISM製造業景況指数	*	8月	55.5		52.8	56.3
2日	20:45	木	EUR	欧州中央銀行(ECB)政策金利	*	*	1.00%		1.00%	1.00%
3日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	8月	-13.1万人	-5.4万人	-10万人	-5.4万人
3日	21:30	金	USD	失業率	*	8月	9.50%		9.60%	9.60%
3日	23:00	金	USD	ISM非製造業景況指数(総合)	*	8月	54.3		53.2	51.5

一言コメント・・・ISMは製造業指数が市場予想を上回りましたが、非製造業指数は弱く、今後も先行きを見守る必要がありそうです。雇用統計は比較的強めの結果となりました。

先週の注目された要人発言

30日15:21 白川方明日銀総裁「国債買い入れオペは現在の規模が適切」
 30日15:21 白川方明日銀総裁「必要なら適時適切に対応行う」
 30日15:21 白川方明日銀総裁「為替レート含め日本経済の先行きを考え、金融緩和を行った」
 30日17:00 野田佳彦財務相「日銀の追加緩和は迅速かつ適切な対応と評価する」
 30日17:42 菅直人首相「経済対策自体は9月10日には決定したい」
 31日15:55 池田元久財務副大臣「急激な為替の変動には断固たる措置をとる」
 31日15:55 池田元久財務副大臣「為替介入をした場合、日銀には非不胎化をしっかりとやらなければならない」
 1日3:02【FOMC議事要旨】「見通しがはっきりと弱含めば、追加の刺激策を検討する必要がある」
 1日3:04【FOMC議事要旨】「雇用市場は予想していたよりも弱い」
 1日3:04【FOMC議事要旨】「企業が雇用を増やす必要性を感じている兆しはほとんどない」
 1日3:10【FOMC議事要旨】「成長は短期的には更に緩慢になると見ている。」
 2日14:35 小沢一郎・民主党前幹事長「急激な円高はよくない」
 2日14:40 小沢一郎・民主党前幹事長「協調介入しなければ効果はないが、日本単独でも介入するくらいの覚悟が必要」
 2日21:31 トリシェECB総裁「政策金利は適切だ」
 2日21:37 トリシェECB総裁「ECBは無制限の資金供給を2011年に延長するだろう」
 2日21:41 トリシェECB総裁「3カ月物資金供給オペは10月、11月、12月も継続する」

一言コメント・・・日銀が追加の金融緩和を行ったことで、日本要人への注目は少し落ち着いたようです。ただ、日本の政局に関する報道が出て来る可能性もありますので、引き通し注意が必要です。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
7日	8:01	火	GBP	英小売連合(BRC)小売売上高調査	前年同月比	8月	0.50%		-
7日	*	火	JPY	日銀金融政策決定会合、終了後政策金利発表	*	*	0.10%		0.10%
7日	13:30	火	AUD	豪準備銀行(中央銀行)、政策金利発表	*	*	4.50%		4.50%
8日	22:00	水	CAD	カナダ銀行 政策金利	*	*	0.75%		1.00%
8日	3:00	水	USD	米地区連銀経済報告(ページブック)	*	*	*	*	*
9日	20:00	木	GBP	イングランド銀行(BOE、英中央銀行)金利発表	*	*	0.50%		0.50%
9日	23:00	木	ZAR	南アフリカ準備銀行(中央銀行)政策金利	*	*	6.50%		6.00%

会員専用サイト内のレポートでGI24のコメンテーターが注目材料をご紹介します！
 今週の注目は・・・ドル円は上値が重い

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認下さい

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - YEN蔵氏
 - 和田仁志
 - IV
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - アニシモワ・タマラ
 - 今井雅人

情報提供元：グローバルインフォ

グローバルインフォ株式会社より提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、グローバルインフォ（株）は一切の責任を負いません。